

J:COMホール八王子（市民会館）

視点	施設名	評価項目	NO.	6月			9月			12月			3月（年間）															
				所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）													
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	施設名	評価項目	NO.	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）													
																定量的	1	-	スキルアップ研修としてではないが、受付窓口担当を対象に客席や楽屋、舞台裏について学ぶ研修を行い、サービスの向上を図った。	第一四半期での実績なし	-	年度末の数値をもって評価する。	7/8 清掃インスペクション(1名参加) 8/26 清掃インスペクション(管理者研修(1名参加)) 9/6 コンプライアンス・個人情報保護研修(13名参加)					
																2	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 9/15,24 上級救命講習(2名再取得) 9/27 サービス介助士(1名新規取得)						
																3	B		管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料例：銀行口座】	B		管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B					
																4	B		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【確認資料例：独立した会計帳簿】	B		ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B					
																5	B		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか【確認資料例：独立した会計帳簿・日報・月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B		適正に行っている。	B					
																6	B		収支計画が適正であること【確認資料例：事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B					
																7	B		業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料例：事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行っている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B					
																8	B		給与の支出が適切に行われているか【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	B		適切に行っている。	B					
																9	B		事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	B		健全な状態となっている。	B					
10	B		業務の一括委託が行われていないか【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B		適切に実施している。第三者への一部業務委託については、市と協議し承諾を得ている。	B																					
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	施設名	評価項目	NO.	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）													
																定量的	11	-	年末年始休館日(令和6年12月29日～令和7年1月3日)及びサザンスカイタワー八王子全館休館日を除く全日開館する。	第一四半期 91日	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 92日(累計：183日)					
																12	-	設備は電気・空調等維持管理業務、舞台設備は舞台機構・照明設備・音響設備点検業務を年間計画を立て実施する。	第一四半期 7回【設備3回、舞台設備3回(舞台2回、照明1回)、消防設備1回】	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 7回【設備3回、舞台設備3回(舞台2回、音響1回)、ITV設備1回】 累計：14回						
																13	-	ホール備品の中で、ピアノは特に細心の注意を払って性能・品質の維持に努める。	第一四半期 3回(調律1回、点検2回) 試弾7回	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 3回 累計：6回(調律3回) 試弾5回						
																14	B		開館日数、開館時間は守られているか【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	B		第一四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B					
																15	-		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)【確認資料例：減免申請書・減免申請に係る帳簿】	-		第一四半期での実績なし	-					
																16	B		文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B					
																17	A		通常の清掃や点検では手入れが行き届かない箇所について調査し、状況を把握した。清掃が不十分な箇所について、定期的に対処するための対策を講じる予定である。施設を熟知した指定管理者がノウハウを活かして積極的に取り組んでおり、また機器の負荷軽減にもつながるため評価する。	A		館内及び屋上に設置されているガラリ(吸込み口・吹出し口)の調査を実施した。汚れが著しく、定期的な清掃が必要と判断される箇所について、清掃することで空調負荷の削減に繋がるため、今後の維持管理業務計画に追加を検討している。(計画追加時期は未定) 今後予定されるLED化に向け、管球調達計画を策定し、市担当部署と共有していく。(令和9年度LED更新と仮定) 舞台機構、照明、音響機器についても市担当部署と密に連携し、工事内容の優先度の確認や複数年度にわたる工事のスケジュール調整など、計画的に修繕・施設保全を行っている。	A					
																18	B		備品の管理が適切に行われているか【確認資料例：備品台帳・実地調査】	B		日常業務の中で、適切に管理している。 4/5,6/4 ティンパニー5台定期メンテナンス実施	B					

令和6年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			3月(年間)		
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者数 30万人/年	施設来場者数の増加を図る。	19	-	年度末の数値をもって評価する。	94,564人	-		84,495人 (累計:179,059人)					
	時間延長利用件数 100件/年	市民サービス・興行利用等への対応	20	-	年度末の数値をもって評価する。	28件	-		23件 (累計:51件)					
	興行系公演の誘致活動 30件/年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	21	-	年度末の数値をもって評価する。	9件	-		9件 (累計:18件)					
	舞台人件発注件数 (フンストップサービス) 20件/年	フンストップサービス~サービス窓口の一元化による利用者の利便性の向上を図り、催し物の内容に応じて特に専門性の高い舞台人件等の利用者要望に対応する。	22	-	年度末の数値をもって評価する。	7件	-		6件 (累計:13件)					
	ホームページアクセス件数 30万件/年	八王子市民会館に適した特徴のあるホームページとするとともに、効果的な運営を行う。	23	-	年度末の数値をもって評価する。	74,659件	-		59,947件 (累計:134,606件)					
	利用者満足度 90%/年	施設利用者の満足度の向上を図る。	24	-	年度末の数値をもって評価する。 無回答が2枚あったため100%には至らなかった。	96.2%	-		97.4% (累計:96.7%)					
	指定管理者が行う自主事業の参加者満足度 80%/年		25	-		第一四半期での実施なし	-	無回答が影響し、満足の割合が低下した。	8/19 SEASON'Sコンサートvol.10:83.3% 8/19 化石を探そう!?:63.3% 8/27 第11回避難訓練体験コンサート:66.5% (累計:67.9%)					
指定管理者が行う参加型事業への参加者数 1,500名/年		26	-		第一四半期での実施なし	-	年度末の数値をもって評価する。避難訓練体験コンサートの参加者数はもう少し増やしたいとの報告があった。	8/19 SEASON'Sコンサートvol.10&化石を探そう!?:86名 8/27 第11回避難訓練体験コンサート:272名 (累計:358名)						
定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	27	B	施設の管理運営に対する要望ではないが、適切に対応していた。	ホール演奏会にご来場のお客様より、「客席の座席間隔が狭い、各世代へリサーチして設計すべき、この2点を設計者へ伝えてほしい」とのご意見をいただいた。いただいたご意見は八王子市へお伝えさせていただくことをご説明した。	-		第二四半期では利用者等からの相談、苦情はなかった。					
が施設が設けられたら効率的に運営できるか	定量的	利用料金収入 125,960千円/年	28	-	年度末の数値をもって評価する。 第一四半期は、ほぼ前年並みであったとの報告があった。	37,928千円	-		34,854千円 (累計:72,782千円)					
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われるか	定量的	地域連携事業 10件/年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	29	-	年度末の数値をもって評価する。	1件 町内会の清掃活動	-	6件 市内中学校の職場体験の受け入れ(4件)、町内会の清掃活動、市内花火大会への協賛					
		チケット販売割合 45%/年 (販売枚数を全体の取り扱い枚数で除して算出する)	(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団へのチケット販売協力	30	-	年度末の数値をもって評価する。	64.8%	-	59.4% (累計:61.3%)					
		市民優先枠利用団体 60団体/年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえるよう抽選会に市民枠を設定	31	-	年度末の数値をもって評価する。	18団体	-	12団体 (累計:30団体)					
		市民利用(一般利用) 70%/年	市民利用増加の方策を講じる。	32	-	年度末の数値をもって評価する。	67.9%	-	80.3% (累計:73.8%)					
		鑑賞事業への来場割合 70%/年 (来場者数を使用座席数で除して算出する)	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	33	-	年度末の数値をもって評価する。	83.3%	-	75.1% (累計:79.5%)					
		施設の日数利用率 90%/年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営を行う。	34	-	年度末の数値をもって評価する。	98.8%	-	90.0% (累計:94.4%)					

令和6年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			3月(年間)		
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	35	B		昨年度に引き続き、自主事業として「J:COMホール八王子で化石を探そう!」や「避難訓練体験コンサート」の8月開催に向けて準備を進めている。「J:COMホール八王子で化石を探そう!」は、集客を増やすため「SEASON'Sコンサート」と同日開催を予定。今後は会館スタッフも化石について簡単な説明ができるよう、コニカミノルタサイエンスドームの科学指導員からレクチャーを受けることを予定している。	A		夏休み期間中であることとを考慮し、自主事業を子どもでも参加しやすい内容とした。「化石を探そう!」では、こども科学館と連携したほか、ビューフェのドリンク券を発行して、より多くの参加を促すなど、工夫しながら取り組んでいる。						
		36	B		昨年度に引き続き、学園都市センターと共同開催で自主事業「響き渡るフ・タ・シ」の実施を予定。より幅広い方に演奏の機会を提供できるよう、内容についても検討している。また、今年度も「SEASON'Sコンサート(ロビーコンサート)」を年3回の実施を予定している。	A		ロビーコンサートでの選曲や楽器演奏体験の実施など、財団との連携により内容が充実した。また、財団主催事業のチケットを活用してアンケートの回収率を高める取組は、財団の発案を取り入れたものである。連携が進んでおり、評価できる。						
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	37	A		ビル管理組合が行う照明のLED化工事により不要となる管球を引き取り、施設で活用することにした。施設の機器に精通し、またビル管理組合と顔の見える関係を築いているからこそ取組であり、積極的に評価したい。	A		サザンスカイタワー八王子管理組合から、不要となった照明の管球を69本もらい受け、市民会館のホワイエなどで活用することとなった。施設の機器に精通している指定管理者の特性を活かした取組であり、評価できる。						
		38	B		空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。楽屋通路、各楽屋内の窓に設置されているロールスクリーンは半分まで下げ、空調の効果を高めている。	B		空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。5階・7階ホワイエでは、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。楽屋通路、各楽屋内でもロールスクリーンを半分まで下げ、空調の効果を高めている。						
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	防災訓練 4回/年(総合訓練1回、部分訓練2回、緊急連絡網テスト1回)	39	-		第一四半期での実施なし	-		8/20 サザンスカイタワー八王子防災訓練参加(部分訓練) 8/27 避難訓練体験コンサートの実施(総合訓練)						
	危機管理・安全管理関連研修 2回/年	40	-		4/24 防災図上研修(14名参加) 4/24 不審者対応・連携訓練(23名参加) 6/10 公共建築物日常点検等研修会(1名参加) 6/10 ハロゲン消火設備・舞台スプリンクラー動作説明会(8名参加)	-		9/6 舞台安全研修(12名参加)						
	個人情報の取り扱いが適切であること	41	B		情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。						
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】	42	B		本年度も各種保険に加入した。第一四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		第二四半期での保険適用の案件は発生しなかった。						
	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	43	A		日頃より災害時の誘導・避難がスムーズにできるよう、部署間ミーティングを適宜開催し体制を整えている。4/24の不審者対応・連携訓練では、八王子警察署にご協力いただき、不審者が窓口に来た際の窓口対応や110通報のシュミレーションなどを行い指導をいただいた。また、8月開催予定の自主事業「避難訓練体験コンサート」に向けて、今年度も引き続き東北工業大学及び早稲田大学の各研究室と連携しながら、より実践的・効果的な誘導員の配置について検討していく。また新たに八王子防火防災協会の協力でホワイエ及び1階広場での展示・体験コーナーも充実させる予定。広報施策の1つとして英語表記のポスターも作成する。消防関係者を含め、より多くのお客様に来場いただき実践的な訓練を目指す。コロナ感染者数増加のため、外気取入れ量を調整した。	A		避難訓練体験コンサートでは、新たにホワイエで体験コーナーを設けるなど、事業効果を高めるよう工夫していた。また、雨天により実施できなかったが、避難後、屋外で消火器や煙体験を行えるように準備していた。関係機関と連携し、積極的に危機管理意識を高めており、評価できる。						